

○学生と社会人の違い

学生	社会人
授業料を払って勉強	給料をもらって仕事
礼儀・マナーは気にならない	礼儀・マナーは基本
自分のペースで行動	チームで行動
好きな仲間・年代と付き合えばいい	上司、先輩、後輩との付き合い
やり方を細かく教えてくれる (指示に従えばいい)	やり方を細かくは教えてくれない (自分で考える)
努力するプロセスが大事	プロセスではなく仕事の成果が問われる
困ったら友人や家族が助けてくれる	自分でやっていく
頭では理解している (テストで点数を取る)	頭で理解したことを行動で表現する (仕事に取り組む)
権利を主張する	義務を果たす

学年朝礼で話した内容と同じところがありますが大切なことです必ず読んでください



学生も社会人も全ての人がこうではありませんあくまで比較対象として掲載しました

○会社とは？

- ・何かをつくり出して対価 (お金) を得る
- ・何かを提供して対価 (お金) を得る

○これからの社会は？

- ・オートメーション (自動化) ・ ・ 機械にできないこと「考える能力」。
 - ・グローバル (国際的) ・ ・ 海外とのコミュニケーション「対話する能力」。
- ※今後、働き方は大きく変わり、求められる仕事、そして社会も変化していく。

○高校時代に身に付けること

1. 基礎学力 (英語力、国語力、計算力)
2. 学習意欲 (勉強・仕事をする上でのエネルギー)
3. 社会に出るためのマナー (時間やルールを守る意識、挨拶)
4. コミュニケーション能力 (自分の考えをまとめ、的確に伝える。相手の立場で考える。)

英語はとても大切

一夜漬け、丸暗記はダメ内容を理解する

魅力 (メリット) がなければ対価 (お金) は得られない

この学生と社会人のギャップで仕事を辞めてしまう人も多い
就職3年以内の離職率
高校生は約40%
学生のうちにこのギャップを埋める

明るい、暗いなど性格は全く関係ない

○なぜ2年生になると成績が下がる (傾向にある) のか？

- 1 年生は新しい生活への緊張感があり、基礎となる学習内容で学びのバランスがとれていた (勉強=難しさ)。
- 2 年生は生活に慣れ、学習内容が難しくなったが自分の勉強内容と勉強量が変わらないため (勉強<難しさ)。
- 1 年生ですでに諦めてしまう。現実逃避、開き直る (勉強 (そもそもやらない) <<<< 遊ぶ・楽をする)。

今なら間に合うやれば必ずできるようになる

結論
成績を上げるためには今の状態から変化する必要があるので (効率性・勉強量・環境・目標を見直す)



授業で理解できる部分は30%と言われる家庭学習で勝負

○成績を上げるため、2年生になった今、見直すべきこと

服装を正す、整髪をする

自分スイッチのオンオフ (切り替え) ができる (私生活と学校生活のちがいを遊びと勉強の切り替え)。

一流は切り替えがうまい 遊びも一流 仕事も一流

挨拶をする

物事に気づく、行動に移す練習。

「挨拶をする」とわかっているのにしない人は、仕事があるのにやらない人。

やれる人は仕事ができる人



目配り気配りが大切

教室を綺麗に保つ・机の整頓

集中するときに気が散らない。
人間は、集中しなければいけない対象以外のものがあるとそちらの方に気がいってしまう (脳科学)。



集中

授業中に居眠りをしない

居眠りは・・・実は重罪！！
人間は本能的に楽したい生き物なので、クラス全体がそういう気持ちになってしまう。心がそういう環境を許してしまう状況になる、もしくは集中している人が「なぜ自分だけ頑張らないといけないんだ？」という気持ちが芽生えてしまう。



1人が居眠りをすると・・・

居眠り→意識がない→その場に存在しない→授業参加者が1人減る→1人分の授業価値がなくなる→1人分の重み (緊張感) がなくなる→授業がどうしてもよくなる→成績もどうでもよくなる→人生もどうでもよくなる→入学時と卒業時で別人になる

授業中に他ごと・私語・騒がしくしない

居眠りと同じ。



クラス全員が提出期限を守る

責任 (プレッシャー) を感じるができる。連帯性を保つことでチームワークが良くなる。

クラスはチームなので、1人の行動がみんなに大きく影響します
ONE FOR ALL, ALL FOR ONE
仕事において最も大切なことです

3年生になってから修正しようとしても手遅れ
進路決定において2年生は本当に大切な勝負の年です

結論
成績を上げるためにはクラス全体が良い方向へいく必要がある
↓
クラスメイト全員の協力が必要 (責任、チームワーク)

枠の中の内容は先生に言われることではありません。むしろ言われてはいけないことです。意識をすれば誰でもできることなので、お互いに注意し合える関係づくりをしていきましょう。



結論
自分たちで気づく (①問題点を見つけること)、自分たちで改善する (②変化する)、自分たちが向上する (③成果・結果を出す)

この①、②、③が仕事に必要なことです。

2年生になったら、これができていること常に自分で考えて行動する
○考動
×行動

学生と社会人はそれぞれの枠ではなく「学生から社会人」と一つの枠で繋がっています。練習のできないことを試合でやろうとするからミスをして失敗をしてチームに迷惑をかけて嫌になるので、ミスが許される (プロセスを大事にする) 学生の今だからこそ、ミスが許されない (成果を求められる) 社会人と繋げるために、自分が今やらなければいけない大切なことに気づいてください。

先生方のお話で生活面のことだけではなく、進路のために必要なこと、就職や企業や進学や大学・短大・専門学校など自分たちの将来にとって今後必要となってくる話を引き出させてください。その他、先生方個人が持っているみなさんに伝えたい大切なこともあります。話そうとする気を起こさせるのもみなさんです。それらを引き出すためにはベースとなる生活面ができていないと出てきません。この一年間頑張ってください！！

～5月の予定～

5月16日：尿検査、5月20日～5月24日：一学期中間試験、5月26日：第二種電気工事士筆記試験、5月28日～5月29日：体力テスト
他、行事予定については教えられてから動くことがないように事前に自分で把握しておいてください。

